

3 人を育み基盤を整え発展する大分県

「教育県大分」の取組では、確かな学力の育成、グローバル教育及びSTEAM教育の推進のため、児童生徒の英語4技能を育成するとともに、先端技術を活用したEdTech教材を導入する。また、コロナ禍における児童生徒の不安等に対応するため、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置体制を充実していく。

芸術文化では、県立美術館を中核として、観光客が県内を周遊する仕組みづくりを推進するほか、スポーツでは、ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承するとともに、キャンプ誘致等を進め、ラグビーの聖地化に向けた取組を加速させる。

①生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

(単位：千円)

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
196 特 (一部再掲) 未来へつなぐ学び推進事業	120,050 (0)	これからの時代を担う高校生に必要な確かな学力の育成とグローバル教育及びSTEAM教育を推進するため、英語4技能育成システムを構築するとともに、先端技術を活用したEdTech教材を導入する。 ・英語4技能の育成に向けた認定テストの実施と指導体制確立 ・個別最適化された学びのためのデジタル教科書、AIドリルの導入 ・STEAM教育のための学習用教材の導入 など	高校教育課
197 特 (一部再掲) 未来を創るGIGAスクール推進事業	18,085 (0)	小・中学校での主体的・対話的で深い学びを推進するため、授業のイノベーションを促すフロンティア校においてICT活用による授業改善等を実施するとともに、中山間地域等における遠隔教育の実証を行う。 ・個別最適化された学びのためのデジタル教科書、AIドリルの導入 ・中山間地域等小規模校における遠隔授業の実証 など	義務教育課
198 未来を創る学力向上支援事業	657,993 (602,683)	小・中学校での学力向上を図るため、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む市町村に対し、中学校英語教育推進教員(18人)等を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力を把握するため、学力定着状況調査(小5及び中2)を実施する。 【特】小・中学校英語教育推進校を核とした英語指導力の向上・普及 など	義務教育課
199 特 次世代人材育成推進事業	32,938 (0)	先端科学技術分野で活躍できる人材を育成するため、高校生が宇宙への興味を持ち、挑戦意欲の醸成につながる講座等を実施する。 ・高校生を対象とした通年型のSTEAM課題研究講座の開設 ・STEAMフェスタ及び宇宙と科学の高校生シンポジウムの開催 など	高校教育課
200 おおいたグローバルリーダーズ育成事業	25,799 (17,797)	グローバル人材の育成を図るため、高校生を対象とした「グローバルリーダー育成塾」の開催や海外留学支援金の交付等を行う。 【特】国際系大学と連携したオンラインによるバーチャル留学の実施 など	高校教育課
201 特 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業	35,413 (0)	魅力ある農山漁村づくりの核となる担い手を確保・育成するため、先進的な農業者や大学等と連携して、農林水産高校生を対象とした実践的な研修等を行う。 ・企業と連携した実践的なスマート農林水産教育の実施(2校) ・くじゅうアグリ創生塾における実践的な研修の実施(約150日) ・全国募集によるくじゅう農業留学プロジェクトの実施 など	高校教育課
202 特 地域との協働による高校魅力化推進事業	49,611 (0)	地域の高校が中学生から選ばれ、地域に活力を生む学校となるため、地域課題探究学習の実践等地域と連携した取組を強化するとともに、中山間地域に立地する小規模高校とのネットワーク構築に取り組む。 ・高校を核としたプロジェクトの実施 限度額 基本型80万円、選択型70万円 (特別枠は上記限度額に200万円追加) ・小規模高校におけるICTを活用した遠隔授業による科目増設の実証	高校教育課
203 子ども科学体験推進事業	42,595 (32,545)	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-Labo(オーラボ)」を運営し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。 ・科学体験講座を開催するサテライトラボ(地域拠点)の拡充(中津、日田、佐伯各市に加え国東、臼杵、竹田各市で開催) 【特】小・中学生を対象に宇宙を題材としたSTEAM教育講座の開催 【特】動画視聴による在宅型科学体験講座(Webラボ)の実施 など	社会教育課

204	幼児教育推進体制充実事業	48,090 (13,481)	<p>幼児教育施設（幼稚園・認定こども園・保育所）における幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育研修の支援や幼小接続に関する研修等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育アドバイザーの配置（3人） 【新】オンデマンド教材を活用した研修の検証 【新】園務改善に向けたICT設備導入等を行う公立幼稚園への助成 補助率 3/4 限度額 75万円 	義務教育課
205	新 教員業務サポートスタッフ等派遣事業	865,814 (0)	<p>コロナ禍における児童生徒の学びの保障と安全で安心な学習環境を確保するため、きめ細かな指導を行う学習指導員及び消毒等の事務作業を支援するスクールサポートスタッフを配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導員 362人 ・スクールサポートスタッフ 432人 	教育人事課
206	(再掲) 教員の産休・育休取得促進事業	78,999 (39,141)	<p>教員が産休・育休を取得しやすい環境を整備するため、代替教員を早期配置し、ゆとりある引継期間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休暇・休業期間に入る1～4か月前の代替教員配置 【特】配置対象の拡充 小・中学校教員→小・中・高校及び養護教員 	教育人事課
207	学校部活動改革サポート事業	40,307 (40,163)	<p>教員の部活動指導にかかる負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員 135人（公立中学校122人、県立高校13人） 【特】総合型地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行等に関する調査研究を行う。 ・中学校部活動の総合型地域スポーツクラブへの試行的移行（2校） 	体育保健課
208	(再掲) 教育庁ワークセンター設置運営事業	130,324 (95,428)	<p>特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、教育庁内にワークセンターを設置し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。 教育現場における働き方改革を推進するため、県立学校や県立図書館などの教育機関において障がい者スタッフを雇用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用先 教育庁(11人)、県立学校(30人)、教育機関(22人) ・雇用期間 最長5年間（1年更新） 	教育人事課
209	特 (再掲) 特別支援学校就労達成促進事業	20,392 (0)	<p>特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、進路指導の強化や個々の特性に応じた働き方の提案を行うとともに、就職に向けた生徒及び保護者の意識改革や企業からの評価向上につながる職業教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブ・コンダクターの配置（6名） ・学習成果や職業技能等を発表するワーキングフェアの開催 など 	特別支援教育課
210	(再掲) 特別支援学校キャリアステップアップ事業	55,138 (72,867)	<p>特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、卒業生を県立学校に一定期間雇用し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用先 高等学校（11人）、特別支援学校（7人） ・雇用期間 最長3年間（1年更新） ※初年度は特別支援学校、2年目以降は高等学校で勤務 	特別支援教育課
211	新 特別支援学校通学時感染防止対策事業	186,524 (0)	<p>通学時にスクールバスを利用する特別支援学校児童生徒の感染リスクの低減を図るため、スクールバスの臨時増便を行う。</p>	教育財務課
212	いじめ・不登校等解決支援事業	230,247 (184,673)	<p>児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中・高等学校・特別支援学校に配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを全公立小中高・特別支援学校に配置 【特】不登校の児童生徒が多い学校への重点配置（週1回→週2回） 【特】不登校傾向にある生徒への支援等を行う登校支援員の配置 ・学校事故等に対する法的助言等を行うスクールロイヤーの活用など 	学校安全・安心支援課
213	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	91,003 (69,499)	<p>貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決に向け、早期に福祉事務所等の関係機関へ繋ぐ体制の充実・強化を図るため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）及びSSWへの助言を行うスーパーバイザーを配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【特】派遣型から巡回型訪問に拡充するためSSWを増員(42人→57人)など 	学校安全・安心支援課
214	不登校児童生徒教育支援事業	28,186 (29,691)	<p>不登校が長期化している児童生徒に対して、学校以外の場における教育機会の確保など支援の充実強化を図るため、県教育支援センター「ポランの広場」を運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者の相談に対応するアドバイザーの配置（5人） ・ICTを活用して家庭学習支援を行う家庭学習支援員の配置（2人） ・小・中・高校生に対する補充学習教室の開催（県内6か所）など 	学校安全・安心支援課

215	特 おおいた学びのステップ アップ支援事業	2,953 (0)	高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置するとともに、関係機関による連携体制を構築する。 ・教材や高卒程度認定試験の紹介等を行う学習相談の提供（週2回）	社会教育課
216	青少年等自立支援対策推進事業	47,077 (39,855)	ニートやひきこもり、就労等社会的自立に困難を抱える青少年等及びその家族を支援するため、おおいた青少年総合相談所及びひきこもり地域支援センター等を運営する。 【特】医療・法律・心理等の専門家で構成する「多職種専門チーム」の設置	私学振興・青少年課
217	私学振興費	3,720,751 (3,676,625)	私立学校の教育条件の向上と経営の健全性確保等を図るため、学校法人等に対し運営費を助成する。 ・高校15校、中学校4校、小学校1校 【新】教員のICTスキル向上研修への支援	私学振興・青少年課
218	(再掲) 私立高等学校授業料減免支援事業	275,796 (270,096)	国の授業料実質無償化の対象とならない年収590万円以上910万円未満世帯における私立高校生の保護者の経済的負担を軽減するため、授業料減免を行う私立高校に対し助成する。 ・支援額 月額10,000円	私学振興・青少年課
219	(再掲) 私立幼稚園運営費	1,108,912 (1,100,412)	幼児教育の充実を図るため、私立幼稚園を設置する学校法人に対し運営に要する経費を助成する。 ・私学振興費 14施設 ・施設型給付費 12施設	子ども未来課
220	(再掲) 私立幼稚園業務改善等支援事業	20,300 (8,340)	幼稚園教諭の負担を軽減するため、業務改善に向けたICT設備導入等を行う学校法人に対し助成する。 ・補助率 3/4 限度額 54万円→75万円 認定子ども園等に円滑に移行できる環境を整えるため、認可申請事務等を行う職員を雇用する学校法人に対し助成する。 ・補助率 1/2 限度額 80万円	子ども未来課
221	県立学校施設整備事業	4,315,890 (3,675,261) +2年度3月補正 予算計上	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・第三次特別支援教育推進計画に基づく施設整備（高等特別支援学校及び聾学校新校舎の建設等） ・大規模改造（大分豊後高校など6校）など 〔債務負担行為 240,000千円〕	教育財務課

②芸術文化による創造県おおいたの推進

(単位：千円)

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額 〕	当初予算の概要	所管課
222 芸術文化による地域おこし事業	99,500 (117,282)	芸術文化の創造性を活かした地域振興等による地方創生を実現するため、県内各地で取り組む特徴的な芸術文化活動に対する支援を行う。 ・住民参加によるアート作品の制作及びイベント開催(国東市・豊後高田市) ・国際的に活躍しているアーティストの作品展示等のイベント開催(別府市) ・市町村等が実施する芸術文化活動等への支援(6件) 補助率 1/2 限度額 500万円	芸術文化スポーツ振興課
223 特 芸術文化施設を拠点とした観光循環創出事業	61,251 (0)	本県を訪れる観光客が様々な芸術文化施設やイベント開催地を往来し、地域を活性化する好循環を創出するため、県立美術館(OPAM)を中核としたカルチャーツーリズムを展開する。 ・OPAMと各地の芸術文化活動・資源等をつなぐツアー造成 ・OPAMの機能強化に向けたデジタルコンテンツの開発 など	芸術文化スポーツ振興課
224 障がい者芸術推進事業	35,272 (32,024)	障がい者の芸術文化活動を継続・発展させるため、おおいた障がい者芸術文化支援センターを運営し、福祉事業所等に対する相談支援や芸術文化活動の発表・鑑賞機会の提供等を行う。	障害者社会参加推進室

225	(特) 活かして守る大分の文化財保護推進事業	13,844 (0)	「大分県文化財保存活用大綱」に基づき、地域とともに文化財を活かして守るため、市町村の地域計画作成を支援するほか、文化財への理解・関心を高める情報発信の強化や人材育成等を行う。 ・国・県指定文化財のデジタル図鑑の制作 ・子ども学芸員による企画展の開催 など	文化課
-----	---------------------------	---------------	---	-----

③スポーツの振興

(単位：千円)

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課	
226	100,688 (149,235)	東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するため、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルを実施する。 ・オリンピック聖火リレー 開催予定日 令和3年4月23日(金)～24日(土) ・パラリンピック聖火フェスティバル 採火式 令和3年8月12日(木)～16日(月) 集火・出立式 令和3年8月16日(月) 太陽の家(別府市)等	芸術文化スポーツ振興課	
227	(特) ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	39,830 (0)	ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承するため、ラグビーの魅力やキャノンイーグルスのセカンドホストエリアとしての登録を活かした取組を行う。 ・日本代表選手等の手形や足型を配置したラグビーロードの創設 ・キャノンイーグルスホーム戦への県民無料招待の実施 ・キャノンイーグルスによるラグビークリニックの開催 など	芸術文化スポーツ振興課
228	国際車いすマラソン大会開催事業	73,760 (69,260)	東京パラリンピック開催による障がい者スポーツへの注目の高まりを好機と捉え、共生社会の実現に向けた機運の醸成を図るため、新しい生活様式に対応した第40回記念大会を開催する。 【新】VRを活用した「バーチャル車いすマラソン」体験会の実施 【新】GPSアプリを活用したオンラインイベントの開催 【新】大会初回参加者への競技用車いす貸出し等の支援 【新】アートを活用した障がい者スポーツの魅力発信 など	障害者社会参加推進室
229	国際スポーツ大会誘致推進事業	215,008 (58,338)	県民のスポーツに対する関心を高めるとともに、地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進するため、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致・受入れを行う。 【新】事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策の実施	芸術文化スポーツ振興課

④「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

(単位：千円)

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課	
230	九州の東の玄関口としての拠点化推進事業	41,668 (32,994)	九州の東の玄関口としての拠点化を推進するため、県内外を結ぶ交通ネットワークの充実に向けた取組を実施する。 ・フェリー事業者の広報PRの取組に対する助成 ・航空会社や近隣空港と連携した国内航空路線の利用促進 など	交通政策課
231	(新) (再掲)公共交通活性化促進事業	189,166 (0)	コロナ禍で利用者が減少している交通機関の早期利用回復を図るため、各交通事業者の特性を生かした商品造成等を行う。 ・滞在時間の延長や満足度向上につながる企画商品の造成・販売 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入支援 補助率 1/3 限度額 60万円 など	交通政策課
232	東九州新幹線推進事業	1,800 (1,800)	東九州新幹線の整備計画路線への格上げを図るため、国への要望活動を行うとともに、地元機運を醸成するためのシンポジウムを開催する。	交通政策課

233	(公) 道路改良事業	14,573,724 (17,320,786) +2年度3月補正 予算計上	高速道路を補完する循環型高速交通ネットワークの形成を図るため、 地域高規格道路を整備するとともに、その他の国県道の線形不良・幅員 狭小箇所等の改良を行う。 ・中津日田道路（日田市、中津市） ・国道387号（九重町） ・三重新殿線（豊後大野市） など	道路建設課
234	(公) 街路改良事業	2,687,941 (3,153,102) +2年度3月補正 予算計上	市内中心部の慢性的な交通渋滞の改善や、安全な歩行空間等を確保す るため、都市計画道路を計画的に整備する。 ・庄の原佐野線（大分市） ・富士見通南立石線（別府市） ・祇園洲柳原線（臼杵市） など	都市・まちづ くり推進課
235	(単) 身近な道改善事業	800,000 (800,000)	住民の生活に密着した道路の利便性・安全性を低コストかつ短期間で 向上させるため、路肩の拡幅や簡易歩道整備等の小規模な改良や、通学 路安全対策を実施する。 ・国道442号（竹田市） ・松岡日岡線（大分市） ・日田山国線（日田市） など	道路保全課

4 行財政改革の着実な推進

(単位：千円)

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額 〕	当初予算の概要	所管課
236 行政手続電子化加速事業	16,418 (0)	<p>特</p> <p>県民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、行政手続の電子 化を推進するとともに、電子申請の利用促進に向けた取組を実施する。 ・行政手続電子化に向け業務プロセスの見直しを行う専門人材の配置 ・電子申請利用促進キャンペーンの実施 対象 大分県電子申請システムを利用した個人 子育てワンストップサービス等で電子申請を行った世帯 内容 抽選によりデジタルギフト券を交付（2,500人）</p>	行政企画課